

佐潟周辺自然環境保全計画の基本的な方針① (案)

ラムサール条約の精神

◎ ◎ ◎
賢明な利用の推進
広報・教育・参加・啓発活動(CEPA)
潟及びその周辺の保全・再生

現状(現計画)

【植生】

- ・ヨシ群落, ヤナギ群落は概ね安定
- ・希少植物は弱いかく乱がある箇所に多く生育
- ・マツノザイセンチュウによる松枯れの拡大
- ・セイタカアワダチソウ, アレチウリなど外来植物の拡大
- ・ミズアオイ, オニバスの出現変動が大きい

【鳥類】

- ・コハクチョウの飛来数増加

【水質】

- ・CODは減少傾向にあるが, 依然として高い数値を維持
- ・アオコの発生
- ・地下水の硝酸態窒素濃度が高い

【潟環境】

- ・潟底に有機物の堆積

【里潟と地域住民との関係性】

地域の取り組み拡大

- ・佐潟と歩む赤塚の会
- ・佐潟村
- ・中原邸保存会
- ・潟普請・クリーンアップ活動

佐潟を核とした地域づくり

- ・西区 里潟づくり事業の展開

【広域的な取り組みへの期待】

- ・水鳥は, 佐潟だけではなくその他の里潟や周辺の田園環境との一体的な自然環境として利用
- ・いがた命のつながりプラン(生物多様性地域計画)の策定
- ・里潟間の連携した動きは弱い

【佐潟水鳥・湿地センターと各主体の役割】

- ・各主体の新たな役割分担による取り組み推進

基本的な方針(現計画)

1 生態系の変化や水質汚濁など, 環境上の諸問題に対しては, 佐潟の自然環境が持つ浄化能力を活かした方法で解決することを基本としながら, かつてと同様に人の手を加えることで多くの動植物が生息・生育する環境を守り育てていく。

【ポイント】

【植生の維持・保全】

- ・水生植物の保全
- ・希少植物の保全
- ・外来植物の駆除
- ・緑地帯の維持・管理(松枯れ)

【鳥類が飛来しやすい環境の保全】

- ・里潟の保全と採餌場である田園環境との一体的な保全

【水質の改善】

- ・ドロ揚げ

【調査・研究】

- ・モニタリング調査・研究の充実

2 先人の知恵に学び, 現代の社会情勢にあった賢明な利用を目指し, 地域文化に根ざした魅力ある地域づくりを推進する。

【ポイント】

【里潟と地域住民の関わり拡大】

- ・里潟づくり事業
- ・地域経済・地域観光の活性化

3 ハクチョウが飛び交う田園環境都市として, 福島潟・鳥屋野潟・瓢湖といった里潟と, 地域で育まれた里潟文化の発信や保全の取り組みについて, 広域的に連携する。

【ポイント】

【水と緑のネットワークの構築】

- ・佐潟・福島潟・鳥屋野潟・瓢湖との連携

【佐潟水鳥・湿地センターの役割】

- ・環境教育, 啓発活動, 情報発信

改定にあわせ現在の状況を再確認

現状(新計画)

【植生】

- ・ヨシ群落, ヤナギ群落は概ね安定
- ・希少植物は弱いかく乱がある箇所に多く生育
- ・マツノザイセンチュウによる松枯れの拡大
- ・セイタカアワダチソウの蔓延と, 他の外来種の生育拡大
- ・アレチウリの根絶
- ・ハス群落の衰退
- ・オニバスの出現変動が大きい

【鳥類】

- ・コハクチョウの飛来数増加

【水質】

- ・CODは, 依然として高い数値を維持
- ・アオコの発生
- ・地下水の硝酸態窒素濃度が高い

【潟環境】

- ・潟底に有機物の堆積

【里潟と地域住民との関係性】

地域の取り組み拡大

- ・佐潟と歩む赤塚の会
- ・佐潟村
- ・中原邸保存会
- ・潟普請・クリーンアップ活動

佐潟を核とした地域づくり

- ・まち歩き・砂丘歩き事業の展開

【広域的な取り組みへの期待】

- ・水鳥は, 佐潟だけではなくその他の里潟や周辺の田園環境との一体的な自然環境として利用
- ・いがた命のつながりプラン(生物多様性地域計画)に沿った事業の推進
- ・里潟間の連携した動きは弱い

【佐潟水鳥・湿地センターと各主体の役割】

- ・各主体の新たな役割分担による取り組み推進

基本的な方針(新計画)

1 生態系の変化や水質汚濁など, 環境上の諸問題に対しては, 佐潟の自然環境が持つ浄化能力を活かした方法で解決することを基本としながら, かつてと同様に人の手を加えることで多くの動植物が生息・生育する環境を守り育てていく。

【ポイント】

【生態系の保全】

- ・水生植物の保全
- ・希少動植物の保全
- ・外来生物の駆除
- ・緑地帯の維持・管理(松枯れ)

【鳥類が飛来しやすい環境の保全】

- ・里潟の保全と採餌場である田園環境との一体的な保全

【水質の改善】

- ・様々な手法を検討

【調査・研究】

- ・モニタリング調査・研究の継続

2 先人の知恵に学び, 現代の社会情勢にあった賢明な利用を目指し, 地域文化に根ざした魅力ある地域づくりを推進する。

【ポイント】

【里潟と地域住民の関わり拡大】

- ・佐潟で活動する市民団体の連携
- ・地域経済・地域観光の活性化

3 市の鳥「ハクチョウ」が飛び交う田園環境都市として, 福島潟・鳥屋野潟・瓢湖といった里潟と, 地域で育まれた里潟文化の発信や保全の取り組みについて, 広域的に連携する。

【ポイント】

【水と緑のネットワークの構築】

- ・佐潟・福島潟・鳥屋野潟・瓢湖との連携

【佐潟水鳥・湿地センターの役割】

- ・環境教育, 啓発活動, 情報発信

整合性を図る

市民ワークショップで出された「佐潟の将来像」をイラストで表現